# グリーン I T データセンターの消費電力測定

#### 概要

省エネへの関心が高まっている中、IT関連機器に対しても環境対策が急務となってきています。データセンター内のIT機器、電源(DCおよびAC電源)、照明および空調管理などにおいて、省電力化、効率化への取り組みが始まっています。特に、IT機器は通信データ量の増大に伴い、消費電力の増大が危惧されており、これらに取り組むいくつかの業界団体が国内/海外で発足し、消費電力の削減、および高効率化の実現を目指しております。

WT500はこれらの取り組みで問題となっている消費電力の測定や変換効率の 測定ができ、環境対策への取り組みをサポートします。

## アプリケーションのポイント

- 1. 電源や変換器前後の電圧、電流、電力の変動測定
- 2. 電力値、積算電力量の長時間トレンド確認
- 3. 直接入力による高精度な電圧・電流・電力測定
- 4. 大電流や簡易測定ではクランプ接続も可能

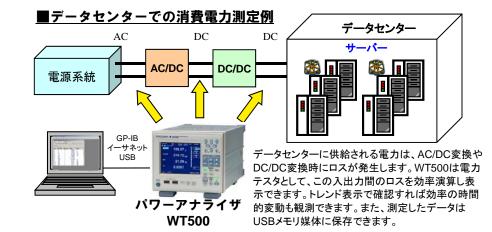
## 特長

- 1. 最大3ch搭載できるので、AC/DC変換、DC/DC変換などの変換器効率を確認できます。
- 2. 最速10回/秒のデータ収集間隔でトレンド表示。 電圧、電流、電力の安定度合いを視覚的に確認
- 3. 高精度電圧/電流/電力確度:±0.2%
- 4. 直接入力測定だけでなく、クランププローブ用の入力端子も搭載可能。簡易的な測定にも対応



WT500と96030クランププローブ 接続により、最大400Aまでの電力 測定可能

※クランププローブでの測定は、直接入力に比べて精度が悪くなります。





※電流値が数mA程度の評価では、単相電力計WT310Eや単相/三相/電力計WT1800(最大6入力)をお使いください。

#### ■WT500表示画面・設定画面

【3つの電力測定とトータル電力測定例】【消費電力などの変動確認画面】



